

平成28年度

紀の川市公営企業会計決算審査意見書

(水道事業会計・工業用水道事業会計)

紀の川市監査委員

29紀監査発第140002号  
平成29年8月18日

紀の川市長 中村 慎司 様

紀の川市監査委員 箕輪 光芳

紀の川市監査委員 岩坪 初雄

紀の川市監査委員 村垣 正造

平成28年度紀の川市公営企業会計の決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成28年度紀の川市公営企業会計（水道事業会計・工業用水道事業会計）決算について審査を行った結果、次のとおり意見を提出する。

## 平成28年度紀の川市公営企業会計決算審査意見

### 第1 審査の概要

#### 1 審査の対象

平成28年度 紀の川市水道事業会計決算

平成28年度 紀の川市工業用水道事業会計決算

#### 2 審査の期間及び場所

平成29年8月4日（金） 紀の川市役所 本庁舎 5階 502中会議室

#### 3 審査の手続

審査に付された決算書、財務諸表、決算附属書類について、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計諸帳簿、証拠書類との照合等通常実施すべき審査手続きを実施したほか、関係職員の説明を聴取するとともに、各事業の経営内容を把握するため計数の分析を行い、経済性の発揮及び公共の福祉の増進に寄与しているかどうかについて審査した。

### 第2 審査の結果

#### (水道事業会計)

審査に付された決算書、財務諸表、決算附属書類は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

#### 1 事業の概要

平成29年3月末現在で、給水件数は2万2,714件、給水人口は5万8,155人となっている。年間総配水量は757万6,438<sup>m</sup>、年間総有収水量は624万7,946<sup>m</sup>であり、有収率は82.5%となっている。

給水件数	(件)	22,714
現在給水人口	(人)	58,155
年間総配水量	( <sup>m</sup> )	7,576,438
給水量 ( <sup>m</sup> )	年間総有収水量	6,247,946
	1日平均	17,118
有収率	(%)	82.5

(注) 平成29年3月末現在

#### 2 収支の状況

収益的収入の決算額は12億7,651万4,150円、収益的支出の決算額は12億566万3,089円で、収支は7,085万1,061円の収益となっている。資本的収入の決算額は2億3,026万316円で、資本的支出の決算額は7億3,038万107円となっており、不足する額5億11万9,791円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,967万176円及び過年度分損益勘定留保資金4億7,044万9,615円で補填されている。

## (1) 収益的収入及び支出

## 収入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減
1 款 水道事業収益	1,280,426,000	1,276,514,150	△3,911,850
1 項 営業収益	1,139,095,000	1,126,336,725	△12,758,275
2 項 営業外収益	141,239,000	150,177,425	8,848,425
3 項 特別利益	2,000	0	△2,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

## 支出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	繰越額 (地方公営企業法第26条第2項)	不 用 額
1 款 水道事業費用	1,283,209,000	1,205,663,089	13,993,000	63,552,911
1 項 営業費用	1,144,559,000	1,076,192,003	13,993,000	54,373,997
2 項 営業外費用	128,149,000	128,095,856	0	53,144
3 項 特別損失	501,000	1,375,230	0	△874,230
4 項 予備費	10,000,000	0	0	10,000,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

## (2) 資本的収入及び支出

## 収入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減
1 款 資本的収入	237,056,000	230,260,316	△6,795,684
1 項 企業債	214,600,000	210,400,000	△4,200,000
2 項 国庫補助金	1,000	0	△1,000
3 項 工事負担金	3,357,000	766,000	△2,591,000
4 項 出資金	19,096,000	19,094,316	△1,684
5 項 固定資産売却代金	1,000	0	△1,000
6 項 貸付金収入	1,000	0	△1,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

## 支出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
1 款 資本的支出	757,030,000	730,380,107	17,112,000	9,537,893
1 項 建設改良費	434,938,000	409,290,217	17,112,000	8,535,783
2 項 企業債償還金	321,091,000	321,089,890	0	1,110
3 項 貸付金	1,000	0	0	1,000
4 項 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

### 3 経営成績

当年度の経営の成績は、次のとおりとなっている。

#### 損 益 計 算 書

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
営 業 収 益	1,045,595,751	
給 水 収 益	1,007,736,228	
受 託 工 事 収 益	35,038,322	
そ の 他 の 営 業 収 益	2,821,201	
営 業 費 用	1,039,440,910	
原 水 及 び 浄 水 費	231,188,593	
配 水 及 び 給 水 費	168,147,584	
受 託 工 事 費	60,955,300	
総 係 費	150,662,405	
減 価 償 却 費	420,532,028	
資 産 減 耗 費	7,955,000	
そ の 他 営 業 費 用	0	
営 業 利 益	6,154,841	
営 業 外 収 益	147,252,364	
受 取 利 息 及 び 配 当 金	2,522,258	
補 助 金	1,244,000	
繰 入 金	5,406,812	
加 入 金	38,562,050	
長 期 前 受 金 戻 入	88,347,586	
雑 収 益	11,169,658	
営 業 外 費 用	110,958,550	
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	110,693,556	
雑 支 出	264,994	
経 常 利 益	42,448,655	
特 別 利 益	0	
過 年 度 損 益 修 正 益	0	
固 定 資 産 売 却 益	0	
特 別 損 失	1,297,570	
過 年 度 損 益 修 正 損	1,297,570	
固 定 資 産 売 却 損	0	
そ の 他 特 別 損 失	0	
当 年 度 純 利 益	41,151,085	
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金	175,005,437	
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額	0	
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	216,156,522	

(1) 営業利益

営業収益 10 億 4,559 万 5,751 円から営業費用 10 億 3,944 万 910 円を控除した営業利益は、615 万 4,841 円となっている。

(2) 経常利益

営業利益 615 万 4,841 円に営業外収益 1 億 4,725 万 2,364 円を加え、営業外費用 1 億 1,095 万 8,550 円を控除した経常利益は、4,244 万 8,655 円となっている。

(3) 純利益

経常利益 4,244 万 8,655 円から特別損失 129 万 7,570 円を控除した当年度純利益は、4,115 万 1,085 円となっている。

この額に、前年度繰越利益剰余金 1 億 7,500 万 5,437 円を加えた 2 億 1,615 万 6,522 円が当年度未処分利益剰余金となっている。

#### 4 財政状態

当年度の財政状態は、次のとおりとなっている。

#### 貸借対照表

(単位：円)

科 目		金 額	科 目		金 額	
資 産 の 部	固 定 資 産	11,252,509,161	負 債 の 部	企 業 債	340,377,447	
	有 形 固 定 資 産	11,251,650,921		建設改良費等の財源に 充てるための企業債	340,377,447	
	土 地	901,739,838		その他の企業債	0	
	建 物	576,164,878		未 払 金	88,234,990	
	構 築 物	7,886,884,750		引 当 金	11,750,000	
	機 械 及 び 装 置	1,853,042,317		賞 与 引 当 金	9,879,000	
	車 両 運 搬 具	537,057		法定福利費引当金	1,871,000	
	工 具 器 具 ・ 備 品	8,005,081		その他流動負債	90,286	
	建 設 仮 勘 定	25,277,000		繰 延 収 益	1,788,385,870	
	無 形 固 定 資 産	858,240		長 期 前 受 金	3,955,351,777	
	施 設 利 用 権	432,000		収 益 化 累 計 額	△2,166,965,907	
	電 話 加 入 権	426,240		負 債 合 計	7,544,946,863	
	流 動 資 産	2,334,041,981		資 本 の 部	資 本 金	5,816,241,843
	現 金 預 金	2,296,113,970			自 己 資 本 金	5,816,241,843
未 収 金	87,535,345	固 有 資 本 金	2,618,778,071			
貸 倒 引 当 金	△54,020,974	繰 入 資 本 金	90,859,699			
貯 蔵 品	313,640	組 入 資 本 金	3,106,604,073			
前 払 金	4,100,000	剰 余 金	225,362,436			
その他流動資産	0	資 本 剰 余 金	9,205,914			
資 産 合 計	13,586,551,142	受 贈 財 産 評 価 額	9,104,114			
負 債 の 部	固 定 負 債	5,316,108,270	その他資本剰余金		101,800	
	企 業 債	5,316,108,270	利 益 剰 余 金		216,156,522	
	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	5,316,108,270	減 債 積 立 金		0	
	その他の企業債	0	利 益 積 立 金		0	
	流 動 負 債	440,452,723	建 設 改 良 積 立 金		0	
	一 時 借 入 金	0	当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金		216,156,522	
	一 時 借 入 金	0	資 本 合 計	6,041,604,279		
	企 業 債 前 借	0	負 債 資 本 合 計	13,586,551,142		

資産の総額は、135億8,655万1,142円で、その内訳は、固定資産が112億5,250万9,161円、流動資産が23億3,404万1,981円となっている。

負債及び資本の総額は、資産の総額と同額の135億8,655万1,142円であり、負債の総額は、75億4,494万6,863円で、その内訳は、固定負債が53億1,610万8,270円、流動負債が4億4,045万2,723円、繰延収益が17億8,838万5,870円である。資本の総額は、60億4,160万4,279円で、その内訳は、資本金が58億1,624万1,843円、剰余金が2億2,536万2,436円となっている。

## 5 供給単価・給水原価

本年度における給水量1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価と給水原価の状況は、次表のとおりとなっている。

供給単価と給水原価の状況（1 m<sup>3</sup>当たり）

（単位：円）

供給単価 (A)	161.3	給水収益／年間総有収水量
給水原価 (B)	160.2	経常費用－（受託工事費＋材料売却原価） －長期前受金戻入／年間総有収水量
差 引 (A－B)	1.1	

## 6 総括

以上が、平成28年度における紀の川市水道事業会計決算審査の概要である。

本年度の業務実績は、給水件数2万2,714件（対前年度48件の増）、給水人口5万8,155人（対前年度754人の減）となっており、減少理由は自然減である。また、給水状況は年間総配水量757万6,438 m<sup>3</sup>（対前年度12万1,275 m<sup>3</sup>の減）、年間総有収水量は、624万7,946 m<sup>3</sup>（対前年度5万6,824 m<sup>3</sup>の減）、有収率は、82.5%（対前年度0.6ポイントの増）となっている。

経営成績は、総収益11億9,284万8,115円に対して総費用11億5,169万7,030円となっており、純利益4,115万1,085円の黒字決算となった。これに前年度からの繰越利益剰余金1億7,500万5,437円が加算され、当年度末処分利益剰余金は2億1,615万6,522円となっている。なお、資本的収入額の資本的支出額に対する不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填している。

前年度と比較すると、本年度決算は水道事業の主たる収益である給水収益については819万6,579円の減収となったものの、黒字決算となっている。今後、人口の減少による給水収益の減収や水道施設の大量更新時期による修繕費の増加傾向が続いているため、依然経営状況は厳しいことが見込まれる。このため、紀の川市水道事業基本計画に基づき、健全な財政運営のもと安定した経営を望む。



(工業用水道事業会計)

審査に付された決算書、財務諸表、決算附属書類は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

1 事業の概要

平成29年3月末現在で、給水件数が8件、契約水量が1,325 m<sup>3</sup>/日、年間総配水量は43万2,518 m<sup>3</sup>、年間総有収水量(計量分)は40万9,831 m<sup>3</sup>であり、有収率は94.8%となっている。

給水件数	(件)	8
契約水量	(m <sup>3</sup> /日)	1,325
年間総配水量	(m <sup>3</sup> )	432,518
給水量(m <sup>3</sup> )	年間総有収水量	409,831
	1日平均	1,123
有収率	(%)	94.8

(注) 平成29年3月末現在

2 収支の状況

収益的収入の決算額は4,423万6,236円で収益的支出の決算額は3,647万7,817円、収支は775万8,419円の利益となっている。資本的収入の決算額は0円、資本的支出の決算額は2,171万4,434円となっており、不足する額2,171万4,434円は、過年度分損益勘定留保資金1,071万4,347円及び減債積立金1,100万87円で補填されている。

(1) 収益的収入及び支出

収入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減
1 款 工業用水道事業収益	44,111,000	44,236,236	125,236
1 項 営業収益	42,001,000	42,126,900	125,900
2 項 営業外収益	2,110,000	2,109,336	△664

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

支出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	繰越額 (地方公営企業法第26条第2項)	不用額
1 款 工業用水道事業費用	40,849,000	36,477,817	0	4,371,183
1 項 営業費用	30,863,000	27,513,547	0	3,349,453
2 項 営業外費用	8,986,000	8,964,270	0	21,730
3 項 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ決算額の増減
1 款 資本的収入	1,000	0	△ 1,000
1 項 工事負担金	1,000	0	△ 1,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
1 款 資本的支出	22,717,000	21,714,434	0	1,002,566
1 項 建設改良費	2,000	0	0	2,000
2 項 企業債償還金	21,715,000	21,714,434	0	586
3 項 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含む。

### 3 経営成績

当年度の経営の成績は、次のとおりとなっている。

#### 損 益 計 算 書

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
営 業 収 益	39,006,395	
給 水 収 益	39,006,395	
受 託 工 事 収 益	0	
そ の 他 の 営 業 収 益	0	
営 業 費 用	27,044,000	
原 水 及 び 浄 水 費	5,242,777	
配 水 及 び 給 水 費	436,800	
受 託 工 事 費	0	
総 係 費	7,917,269	
減 価 償 却 費	13,447,154	
資 産 減 耗 費	0	
そ の 他 営 業 費 用	0	
営 業 利 益	11,962,395	
営 業 外 収 益	2,109,494	
受 取 利 息 及 び 配 当 金	125,546	
繰 入 金	96,000	
長 期 前 受 金 戻 入	1,887,790	
雑 収 益	158	
営 業 外 費 用	6,313,470	
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	6,313,470	
雑 支 出	0	
経 常 利 益	7,758,419	
特 別 利 益	0	
過 年 度 損 益 修 正 益	0	
固 定 資 産 売 却 益	0	
特 別 損 失	0	
過 年 度 損 益 修 正 損	0	
固 定 資 産 売 却 損	0	
そ の 他 特 別 損 失	0	
当 年 度 純 利 益	7,758,419	
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金	17,287,743	
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額	11,000,087	
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	36,046,249	

(1) 営業利益

営業収益 3,900 万 6,395 円から営業費用 2,704 万 4,000 円を控除した営業利益は、1,196 万 2,395 円となっている。

(2) 経常利益

営業利益 1,196 万 2,395 円に営業外収益 210 万 9,494 円を加え、営業外費用 631 万 3,470 円を控除した経常利益は、775 万 8,419 円となっている。

(3) 純利益

当年度純利益は、経常利益と同額の 775 万 8,419 円となっている。

この額に、前年度繰越利益剰余金 1,728 万 7,743 円とその他未処分利益剰余金変動額 1,100 万 87 円を加えた 3,604 万 6,249 円が当年度未処分利益剰余金となっている。

#### 4 財政状態

当年度の財政状態は、次のとおりとなっている。

#### 貸借対照表

(単位：円)

科 目		金 額	科 目		金 額
資産の部	固定資産	390,540,615	負債の部	未払金	2,631,086
	有形固定資産	390,540,615		引当金	547,000
	土地	7,086,380		賞与引当金	461,000
	建物	39,521,458		法定福利費引当金	86,000
	構築物	285,775,010		その他流動負債	0
	機械及び装置	58,157,767		繰延収益	53,922,807
	車両運搬具	0		長期前受金	67,916,052
	工具器具・備品	0		収益化累計額	△13,993,245
	建設仮勘定	0	負債合計	384,227,208	
	無形固定資産	0	資本の部	資本金	92,091,539
	施設利用権	0		自己資本金	92,091,539
	電話加入権	0		固有資本金	2,210,081
	流動資産	124,255,481		繰入資本金	24,118,500
	現金預金	123,931,781		組入資本金	65,762,958
	未収金	323,700		剰余金	38,477,349
	貸倒引当金	0		資本剰余金	2,431,100
貯蔵品	0	受贈財産評価額		2,431,100	
前払金	0	その他資本剰余金		0	
その他流動資産	0	利益剰余金		36,046,249	
資産合計	514,796,096	減債積立金	0		
負債の部	固定負債	310,876,020	利益積立金	0	
	企業債	310,876,020	建設改良積立金	0	
	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	310,876,020	当年度未処分利益剰余金	36,046,249	
	その他の企業債	0	資本合計	130,568,888	
	流動負債	19,428,381	負債資本合計	514,796,096	
	一時借入金	0			
	企業債	16,250,295			
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	16,250,295				
その他の企業債	0				

資産の総額は、5億1,479万6,096円で、その内訳は、固定資産が3億9,054万615円、流動資産が1億2,425万5,481円となっている。

負債及び資本の総額は、資産の総額と同額の5億1,479万6,096円であり、負債の総額は、3億8,422万7,208円で、その内訳は、固定負債が3億1,087万6,020円、流動負債

が1,942万8,381円、繰延収益が5,392万2,807円である。資本の総額は、1億3,056万8,888円で、その内訳は、資本金が9,209万1,539円、剰余金が3,847万7,349円となっている。

#### 5 供給単価・給水原価

本年度における給水量1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価と給水原価の状況は、次表のとおりとなっている。

供給単価と給水原価の状況（1 m<sup>3</sup>当たり）

（単位：円）

供給単価 (A)	76.9	給水収益／年間総有収水量（料金算定分）
給水原価 (B)	62.0	経常費用－（受託工事費＋材料売却原価） －長期前受金戻入／年間総有収水量（料金算定分）
差 引 (A－B)	14.9	

#### 6 総括

以上が、平成28年度における紀の川市工業用水道事業会計決算審査の概要である。

本年度の業務実績は、給水件数8件（対前年度と同件数）、年間総配水量43万2,518 m<sup>3</sup>（対前年度1万5,437 m<sup>3</sup>の減）、年間総有収水量（計量分）40万9,831 m<sup>3</sup>（対前年度9,551 m<sup>3</sup>の減）であり、有収率は94.8%（対前年度1.2ポイントの増）となっている。

経営成績は、総収益4,111万5,889円に対して総費用3,335万7,470円となっており、当年度純利益775万8,419円の黒字決算となった。これに前年度繰越利益剰余金1,728万7,743円、その他未処分利益剰余金変動額1,100万87円を加えた当年度未処分利益剰余金は3,604万6,249円となっている。なお、資本的収入額の資本的支出額に対する不足額は、過年度分損益勘定留保資金及び減債積立金で補填している。

前年度と比較すると、本年度決算は営業収益及び営業外収益が減少したが、黒字を確保することができている。

今後も引き続き需要先の新規開拓や契約水量増加の推進と経営の更なる効率化を図ることにより、工業用水道事業の健全かつ安定した経営を望む。